

The transformation of the production and consumption pattern of canned tuna products with reference to transnational agribusiness development (マグロ缶詰の生産・消費パターンの変遷～多国籍企業論の視点から～)

〔概要〕

隔年で開かれる I I F E T (本部はオレゴン州立大学) の世界大会だが、今年は東京海洋大学で開催されたため、国際学会だが国内で報告した。ポスターセッション(報告内容を大きな紙に印刷してボードに貼り付け、来場者に個別に質問する形式の報告)で報告した。マグロ缶詰の主たる生産地であるタイ、フィリピン、インドネシアにおいて、調理済みマグロ缶詰が新製品として開発され、国内むけ、先進国むけ、中国むけにセグメント化されて販路開拓されている。商品開発と国内生産、輸出の軌跡を比較生産費説、プロダクトサイクル理論や雁行形態発展論によって説明した。